

◆2017年「住宅研究・交流集会」◆

「住宅保障を問いなおす、主な課題と政策」(仮題)

日時 2017年10月14日(土) 午後1時30分～

会場 台東区・上野区民館・401集会室 (台東区池之端1-1-12)

—東京メトロ湯島駅・徒歩3分—(地図裏面)

〔プログラム〕

- ◆ 主催者あいさつ 坂庭国晴・住まい連代表幹事
- ◆ コーディネーター 中島明子・和洋女子大学名誉教授

- ◆ 基調講演「住宅政策とセーフティネット」
平山洋介・神戸大学大学院教授

- ◆ 講演1 「市民370名による深夜ホームレス調査:東京ストリートカウントから
東京2020オリパラレガシー『ホームレスの人々を包摂する優しい都市』へ」
河西奈緒・ARCH(アーチ)代表

- ◆ 講演2 「社会住宅ストックと都市地域づくり:エコロジカル・デモクラシーという暮らし方」
土肥真人・東京工業大学准教授、エコロジカル・デモクラシー財団代表理事

平山教授は、「世界」7月号(岩波書店)の「住宅保障政策を問いなおす」の中で、「住宅困窮が増え、貧困がさらに拡大する可能性があるときに、そして、セーフティネット政策が驚くほど小規模な計画しか示さないときに、“ピースミール・アプローチ”をとることの限界を知る必要がある。住宅保障の枠組みと政策スケールを問いなおすときを迎えている」と提起しています。ARCHとは、Advocacy and Research Centre for Homelessness (ホームレス問題についての政策提言&研究チーム)です。その共同代表の河西奈緒さんが実態調査とそれに基づく政策提言を行います。土肥真人准教授は、このアーチの中心メンバーでもあり、都市デザイン・コミュニティデザインを専門とする環境・社会理工学院研究室を主宰されています。コーディネーターを中島明子さんに務めていただきます。

今日の住宅保障を問い、打開の課題と政策を考えます。ぜひご参加下さい。

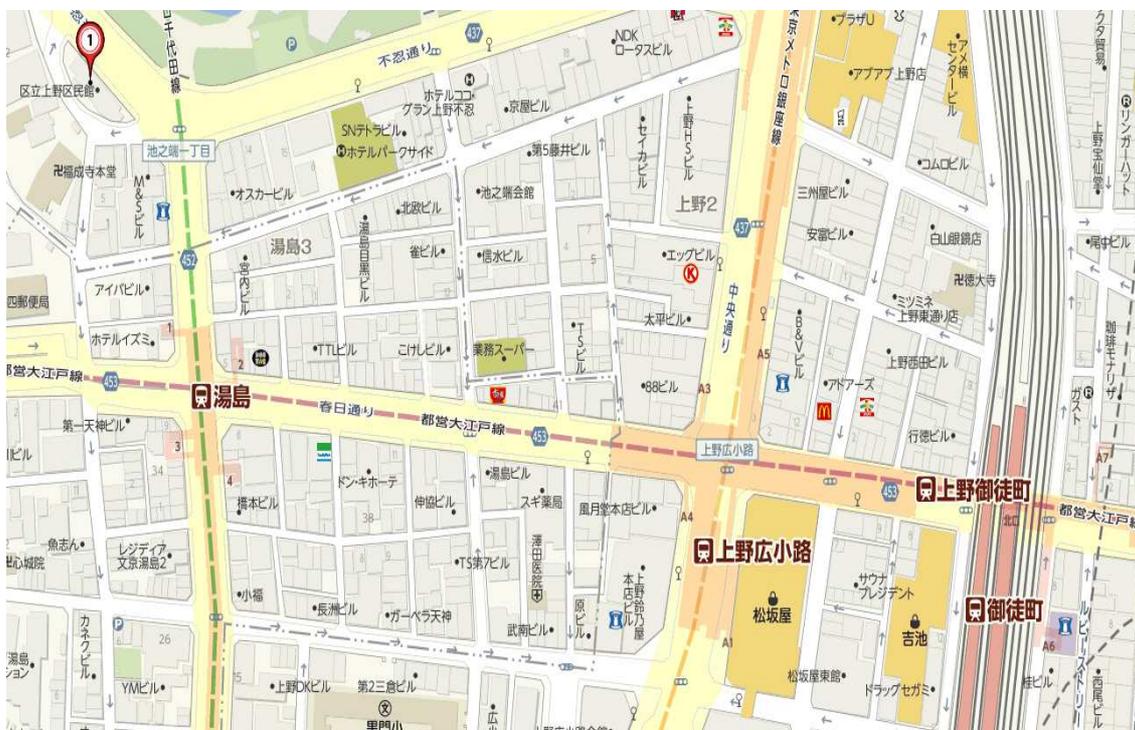
〔資料代 500円〕

〔開催団体〕 国民の住まいを守る全国連絡会(住まい連)、住まいの貧困に取り組むネットワーク
日本住宅会議(関東会議)

〔連絡先〕 NPO 住まいの改善センター TEL03-3837-7611 fax03-6803-0755

【下記地図の左上①が会場の上野区民館（不忍の池脇）、4階の集会室】

東京メトロ千代田線「湯島駅」出入口1から徒歩約3分



【住宅問題の入門書】 編著者 中島明子

HOUSERs（ハウザーズ）—住宅問題と向き合う人々

住まいの権利が日本において未だに浸透していないところに問題の根がある。

これを打開する戦略と戦術をたてるのが、私たちハウザーの役割である。

【主要もくじ】 1章 住まいを考える視点 2章 家族と住まいのビジョンを探る

3章 居住貧困をなくすために 4章 専門職はどうかかわるか

5章 住宅セーフティネット論を超えて

【執筆著者】 広原盛明、鈴木浩、平山洋介、塩崎賢明、祐成保志、廣島清志、小伊藤亜紀子、

丁志映、鎌田一夫、岸岡のり子、阪東美智子、大崎元、三浦史郎、水田恵、坂庭国晴

山本厚生、松川淳子、鈴木和幸、蛭間基夫、安達智則

【発行所】 萌文社（ほうぶんしゃ） 定価 [本体2,000円＋税]

(Fax) 03-3221-1038 (Email) info@hobunsysya.com